

## 豪雪

上越市の気象の特徴である雪。恵みの雪である一方、合併後20年の間にも度重なる豪雪の年がありました。2006年1月・2011年1月・2012年1月・2021年1月には国の災害救助法が適用され、2015年2月・2022年2月には新潟県災害救助条例が適用されました。



- ㊤: 市の職員による除雪作業 (2006・平成18年1月)
- ㊦㊧: 自衛隊による除雪作業 (中郷区 2006・平成18年1月)
- ㊨㊩: 高田地区の一斉屋根雪下ろし (2021・令和3年1月)
- ㊪: 道路除雪 (吉川区 2011・平成23年1月)

## 豪雨

毎年国内で起きている豪雨による水害。上越市内でもこの20年間に豪雨によって大きな被害がありました。



大雨による土砂崩れ (吉川区 2005・平成17年6月)



水田の被害 (大島区 2005・平成17年6月)



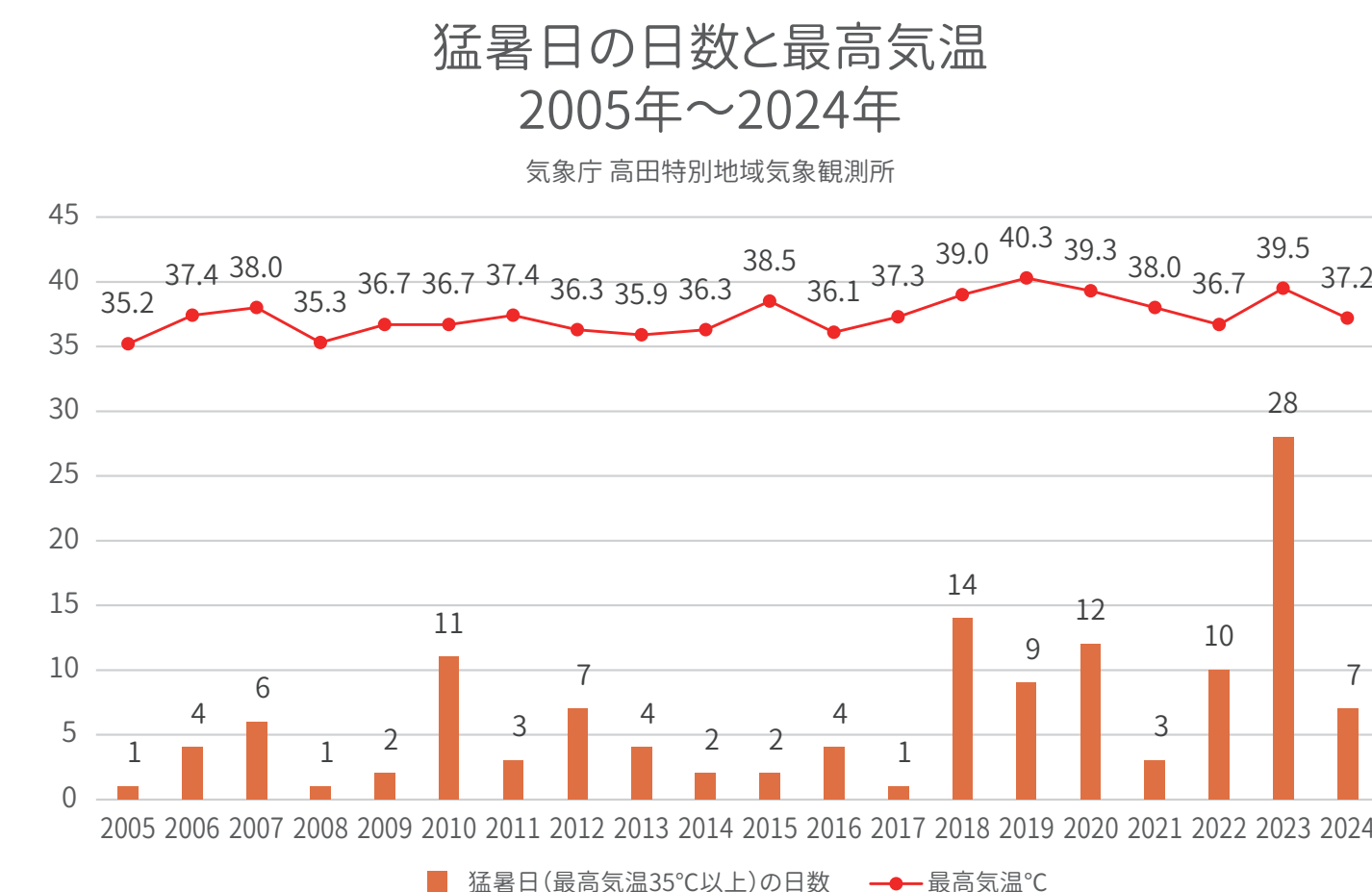
田麦川の洪水 (大島区 2011・平成23年7月)



国史跡 春日山城跡での土砂崩落 (2016・平成28年7月)

## 猛暑・渇水

地球沸騰化ともいわれる近年、上越市内でも最高気温35℃以上の猛暑日を記録する日が珍しくなくなりました。特に2023年は猛暑に加え、長期間降雨がなく農地や農畜産物への大きな影響がありました。



## 地すべり

2012年3月、板倉区で大規模な地すべりが起こりました。



## 地震と津波

合併後の上越市は主なものだけでも、中越沖地震 (2007年7月)、長野県北部地震 (2011年3月)、能登半島地震 (2024年1月) に襲われました。能登半島地震では、津波によって直江津地区に大きな被害が発生しました。

### ●中越沖地震



自衛隊による災害援助



吉川区図書館の被害状況



吉川区の歩道のひび割れ



ガス水道局による緊急支援

### ●能登半島地震



㊤: 直江津海岸の津波被害

㊦: 国道8号茶屋ヶ原付近の土砂崩れ

